

「感染症が疑われる検体の次世代シーケンサーを用いた起因病原体特定のための精査」に

関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では、大阪大学微生物病研究所との共同研究として、感染症が疑われる検体の次世代シーケンサーを用いた起因病原体特定の調査、研究を行っています。感染症には既知の病原体によるものと、先般の新型コロナウイルスのような人類が未だ経験していない未知の病原体によるものがあります。そのような未知の病原体によるアウトブレイクが起こった場合には、感染拡大を最小限に抑えるための迅速な対応が不可欠ですが、あらゆる病原体を確実に検出・同定できるシステムは存在していません。本研究で扱う手法は、既知の病原体はもちろんのこと、未知の新規病原体も同時に検出することができます。迅速に疾患と新規病原体との関連を明らかにすることにより、効果的な予防、治療法の確立に寄与することが期待されています。

[調査の対象となる患者さま]

2021年4月から2023年3月までに、当院で何らかの感染症の感染と診断あるいは感染疑いと診断された患者さまが対象となります。

[調査方法]

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。当院で検査のために採取した検体(生検検体、臓器)のうち検査に使用しない残余検体を大阪大学微生物病研究所へ送付し、

次世代シーケンサーという先端機器を用いて起因病原体を調べます。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

[患者さまのプライバシーに関して]

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。なお、病原体(細菌、真菌、ウイルス)のゲノム情報を公共のデータベースに掲載することがございますが、患者さまと病原体を結びつける情報は一切、掲載致しません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。

また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。

〒569-1045 大阪府高槻市阿武野 1-1-1

高槻赤十字病院

血液内科

恩田佳幸

TEL: 072-696-0571

なおこの調査は大阪大学微生物病研究所・生命科学研究倫理委員会における厳重な審査・承認をうけて実施しています。